



# 日本遺産認定

## — 近世日本の教育遺産群 —

藩校教育の到達点として評価される「弘道館」や弘道館と一対の学問・教育施設として開園した「偕楽園」などの教育遺産群が、我が国の文化・伝統を語る歴史的魅力にあふれる文化財として、**日本遺産に認定**されました。

## 学問の府としての伝統を 現在に受け継ぐ水戸の教育遺産



文武両道を錬磨した私塾  
日新塾

学業休息の庭園  
偕楽園

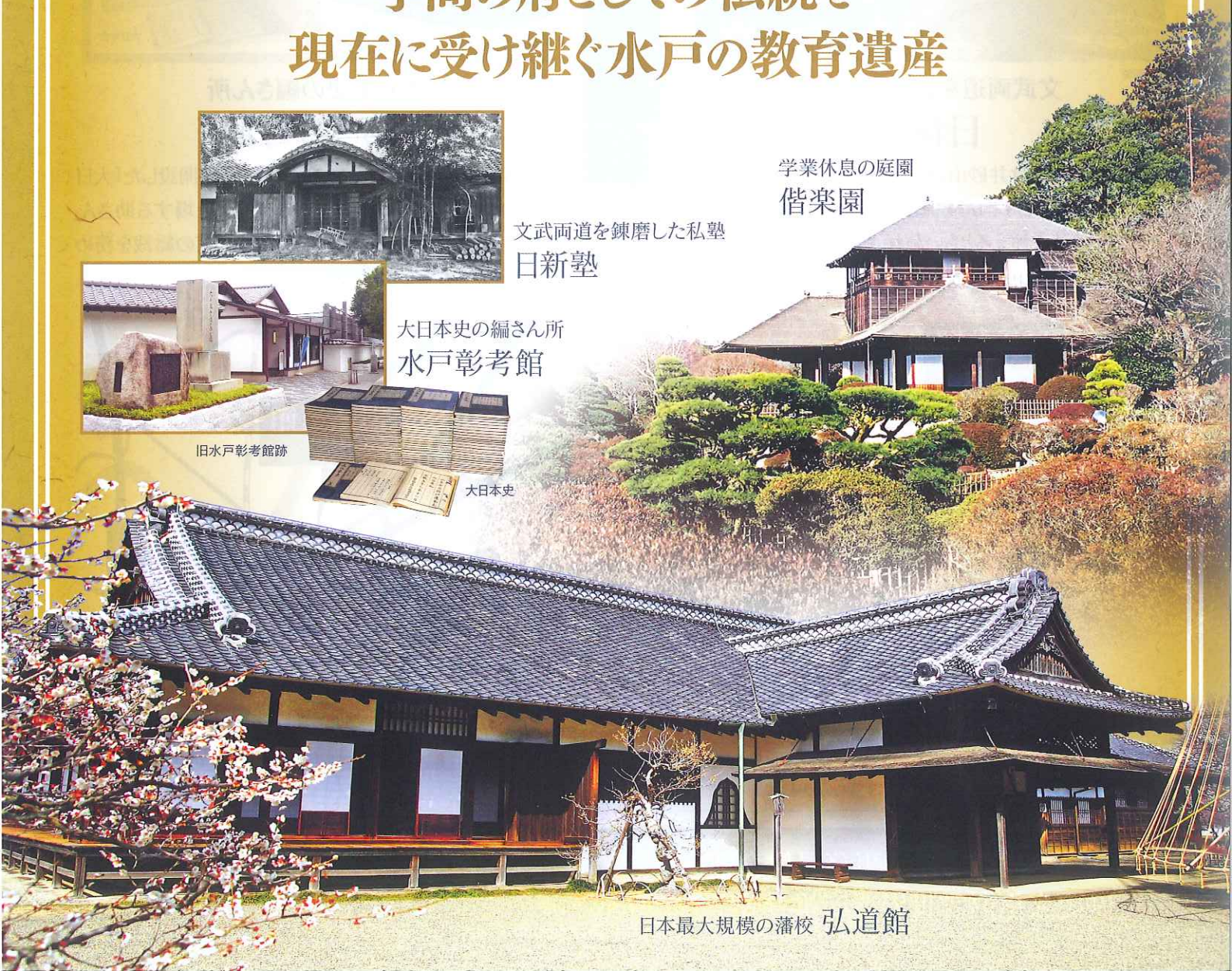


旧水戸彰考館跡

大日本史の編さん所  
水戸彰考館



大日本史



日本最大規模の藩校 弘道館



## 日本最大規模の藩校 弘道館

1841年、徳川斉昭(水戸藩第9代藩主)が創設した藩校です。その建学の精神は、「教育によって人心を安定させ、教育を基盤として国を興す」というものでした。弘道館は儒学教育を基盤としながら、きめ細やかな教育体系を備えました。



日新塾跡

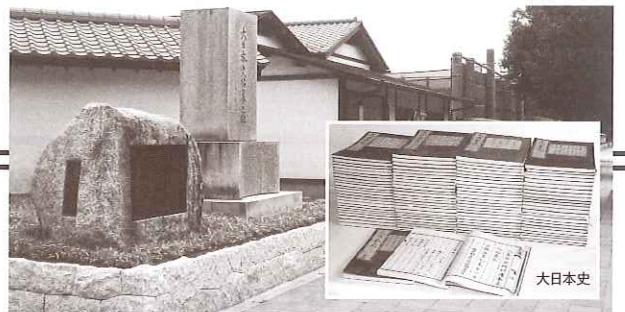
## 文武両道を錬磨した私塾 日新塾

1820年ごろ、加倉井砂山(水戸藩郷士)が創設した私塾です。身分を問わず門戸を開放し、約30年間の間に学んだ生徒は千人を超えるともいわれ、徳川斉昭も高く評価していました。(2004年母屋解体)



## 学業休息の庭園 偕楽園

1842年、徳川斉昭は、「心身の安寧がなくては学問の大成はおぼつかない」との信念から、弘道館と一対の教育施設として偕楽園を開園しました。当代随一の梅林の中で人々が詩歌に興じ、学業の疲れを癒やしました。



旧水戸彰考館跡

## 大日本史の編さん所 水戸彰考館

1698年、徳川光圀(水戸藩第2代藩主)が開設した「大日本史」の編さん所です。「水戸黄門」に登場する助さん(佐々宗淳)、格さん(安積澹泊)は、彰考館の総裁を務めた有名な学者でした。

# 教育遺産の紹介



## 日本遺産とは

文化財を活用し、観光振興や地域活性化を図ることを主な目的として、文化庁が平成27年度から創設した制度です。地域に根付き、世代を超えて受け継がれている歴史的魅力にあふれた文化財群を、共通のテーマごとにまとめ、我が国の文化・伝統を語る「日本遺産」として認定するものです。

お問い合わせ

水戸市教育委員会事務局教育部  
歴史文化財課世界遺産推進室

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-5  
Tel.029-306-8132  
Fax.029-306-8693  
[E-mail] isan@city.mito.lg.jp

一般社団法人 水戸観光協会

〒310-0011 水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎1階  
Tel.029-224-0441 Fax.029-224-0442